

中央社保協ニュース



中央社会保障推進協議会 2025年2月19日 24-23号

110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 医労連会館5階

電話 03-5808-5344 FAX 03-5808-5345

メール k25@shahokyo.jp HP <https://shahokyo.jp/> 部内資料

2月11日 2024年度全国代表者会議を開催 85名参加

大軍拡と社会保障削減に突き進む国政を終わらせ、人権としての社会保障を実現しよう



2月11日、中央社保協は2024年度全国代表者会議を全労連会館で開催し、会場参加・オンラインを含め85名が参加しました。

今年は戦後80年の節目、参議院選挙を目前に控えるなか「大軍拡と社会保障削減」に突き進む国政を終らせ、いのちと暮らしと平和を守る「人権としての社会保障」を実現しようと意思統一しました。

吉田代表委員（東京社保協）は開会挨拶で、近年の政治腐敗や経済格差の実態、マイナ保険証をめぐる国の狙いを厳しく指摘し「真の野党勢力を伸ばし、国民の力を結集し、全国民が幸せな日々を送れる国づくりに向けて共に頑張ろう」と訴えました。



全国代表者会議の議長として、桶谷運営委員（日本医労連）と、寺内運営委員（大阪社保協）を選出し、議事が進められました。

午前は林事務局長が基調報告。国会情勢や社会保障に関わる情勢の特徴に触れ、課題別の秋のたたかいについて総括。社会保障拡充のたたかいを進め、夏の参議院選挙に向け「憲法9条と25条を一体にたたかいを全国ですすめていこう」と呼びかけました。



午後は日本共産党の田村貴昭衆議院議員(厚生労働委員)がオンラインで挨拶。衆議院の予算委員会で「高額療養費の負担上限引き上げ問題」を質問、白紙撤回を求めるとともに、上限額の引下げこそ必要と訴えました。また訪問介護事業所の救済や、生活保護基準の大幅引き上げこそ必要で、石破政権が進める大軍拡について「人の命を救うお金を戦争準備に使うなど言語道断」と訴え、中央社保協の皆さんとともに、社会保障拡充のたたかいをすすめていくと訴えました。



全体討論は課題毎に18本。質問タイムを設けて内容を深めました。討論まとめを林事務局長が行い、高木代表委員(全労連)が全国代表者会議アピール「戦後80年、大軍拡と社会保障削減に突き進む国政を終わらせ、いのちと暮らしと平和を守る人権としての社会保障を実現しよう」、渡辺代表委員(日本医労連)が特別アピール「全世代にかかる高額療養費大改悪の撤回を強く求める」を読み上げ、拍手で承認されました。



21年にわたり代表委員を務められた住江代表委員(保団連)が「長年にわたり皆さんから多くのことを学ばせて頂いた。厳しい情勢のもとであるが、全国の社保協運動のさらなる発展を願っている」と感謝の閉会挨拶を行い、大きな拍手に包まれました。

最後に、山田代表委員(全日本民医連)から、日本の超高齢社会の実態を示し高齢者の生活を守っているのは訪問介護でありヘルパー、国や自治体に対して、責任を持って訪問介護の事業所を守らせるよう声を広げていこうと閉会挨拶を行いました。



全国代表者会議 全体討論での発言者と発言内容(概要)

- ① 新婦人(日野さん)「軍拡より生活 新婦人の秋のたたかい」
- ② 年金者組合(廣岡さん)「軍拡より年金・高齢者要求を」
- ③ 全日本民医連(山本さん)「参議院選挙を見据え全日本民医連のたたかい」
- ④ 兵庫(堤さん)「震災30年、中央社保学校のお礼、知事選から政治革新の決意」
- ⑤ 愛知(小松さん)「高齢者大会in名古屋の成功・教訓」
- ⑥ 長崎(吉田さん)「被爆地から平和と国保のたたかい」
- ⑦ 長野(藤本さん)「国保の国庫負担増を求めるたたかい」
- ⑧ 佐賀(山口さん)「国保ネットワーク結成・中央社保学校 FROM 佐賀開催」
- ⑨ 千葉(竹内さん)「訪問介護の基本報酬引下げ撤回のたたかい」
- ⑩ 保団連(曾根さん)「保険証存続のたたかいと高額療養費問題」
- ⑪ 岡山(森本さん)「生活保護引下げ違憲訴訟 岡山のたたかい」
- ⑫ 鳥取(村口さん)「フードバンクの保護費収入認定を許さないたたかい」
- ⑬ 群馬(町田さん)「桐生市の生活保護をめぐるたたかい」
- ⑭ 石川(藤牧さん)「能登半島の被災地から報告 医療介護の減免」
- ⑮ 宮城(高橋さん)「宮城公立公的4病院の統廃合問題」
- ⑯ 愛媛(倉田さん)「現場実態から要求する社保キャラバン」
- ⑰ 岐阜(河村さん)「自治体キャラバンと地域社保協づくり」
- ⑱ 京都(松本さん)「社会保障連続学習会の取り組みを中心に」

全国代表者会議に参加された皆さん、ありがとうございました

